

令和六年度 第四十回 奥の細道象潟全国俳句大会

「象潟や雨に西施がねぶの花」「汐越や鶴はぎぬれて海涼し」の二句は、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地「象潟」で詠んだ句です。この「象潟」に思いを巡らせてもらおうと昭和五十九年から全国俳句大会を開催しています。本年は、第四十回を記念して吟行句会を開催いたします。ご同好お誘い合わせの上、多数ご投句いただきますようご案内申し上げます。

開催日

令和六年八月三日（土）

会場

秋田県にかほ市 象潟公民館（にかほ市象潟町字狐森三十一）

（J R 羽越本線 象潟駅下車、大会当日は、J R 象潟駅・会場間の送迎バスを運行します）

大会日程

- 吟行句会 午前十時～正午（受付九時～九時四十五分象潟公民館集合）
行先 象潟 九十九島・蚶満寺（※バスで移動します）
※吟行句会は、事前申込制の定員三十名です。定員に達し次第締め切ります。
- 大会受付 午後一時～午後一時四十五分
- 記念講演・選評 午後二時～午後三時十五分
- 授賞式 吟行句会入賞発表（午後三時二十分～午後四時終了予定）



岸本 尚毅

きしもと なおき

【事前投句】

講師 岸本 尚毅 氏

作品 一人二句まで（四季雑詠・未発表のもの）

投句料 二句一組千円（現金書留または小為替同封のこと）

投句先 奥の細道象潟全国俳句大会事務局（にかほ市生涯学習課内）

〒018-0311

秋田県にかほ市金浦字南金浦四十九-二

電話 〇一八四-三三一七

FAX 〇一八四-三三一七

賞品 特選三句は蚶満寺境内の

俳句掲示板に一年間掲示されます。



蚶満寺境内 俳句掲示板

【吟行句会】

瞩目一句 投句料 無料

当日受付で配布する投句用紙を使用し、正午まで（時間厳守）に大会会場備え付け投句箱に投句してください。

第四十回奥の細道象潟全国俳句大会 投句用紙

投句締切

令和六年六月二十一日（金）当日消印有効（期日厳守）

吟行句会参加の方には、受付票を郵送します。

◆ 楷書で明瞭に記入してください

整理番号			
氏名	郵便番号	二	一
	住所	ふりがな	
ふりがな			
俳号		ふりがな	
※名字もつく方はフルネーム			
電話番号 ※平日の昼時間に連絡が取れる電話番号			
当日の参加について どちらかに○をつけてください。			
俳句大会	参加	不参加	
吟行句会	参加	不参加	
	※井当有無（当日1,000円集金）		
	必要	不要	

〒018-0311

秋田県にかほ市金浦字南金浦49-2

奥の細道象潟全国俳句大会事務局

（にかほ市生涯学習課内）